

■第3回策定会議の意見の振り返り

項 目		意 見
全体		<ul style="list-style-type: none"> ・文字を大きくする ・専門用語の解説
表紙		<ul style="list-style-type: none"> ・最も重要な避難情報を掲載
1. 災害から身を守る	北区の災害特性	<ul style="list-style-type: none"> ・地形からどのように行動すればよいか分かる記述（具体的な場所） ・災害履歴を教訓とする記述（どこでどのような災害発生） ・海拔の表記 ・河川の掲載基準の明確化 ・人口と気象のデータ不要
	避難行動ページ全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地震と津波は一緒に記述 ・避難の判断基準を分かりやすく表現 ・停電時の対応として携帯ラジオの持参を追加 ・風水害以外も車での避難を控える記述を追加 ・火災、地震、津波時のサイレン種類を追加
	地震	<ul style="list-style-type: none"> ・地震予知情報の詳細解説 ・「こんな時どうする」に学校の場合を追加 ・北区に地下街はないので地下階に変更 ・「こんな時どうする」は共通ページに移動
	津波	<ul style="list-style-type: none"> ・津波警報、サイレン吹鳴の分かりやすい表現
	風水害	<ul style="list-style-type: none"> ・避難情報の説明を避難行動のフロー内に追記 ・サイポスレーダーの情報入手方法（HPアドレス、QRコード）を追加
	土砂災害	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難に時間を要する人」を分かりやすい表現にする
	地震被害想定	<ul style="list-style-type: none"> ・地震被害想定について、自分の住んでいる地域の危険度が分かるように表現（地区界や主要道路を追加） ・危険な地域が分かるように表現（例えば、危険な地域一覧を掲載） ・被害想定とともに過信しないことを記載
	防災施設マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・防災施設マップは重要なため掲載ページを検討 ・地区ごとに大きく図示 ・凡例をわかりやすく表現 ・ベース図ありか簡易表現（主要道路、地区界）を次回選択 ・災害別で避難所の違いを明確化 ・避難所のほか、主要道路、病院、ヘリポートを追記（防災マップとの使い分け） <p>■避難所の備蓄品の追加</p>
2. 災害に備える	情報を得る	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ホットメールと気象庁の情報におけるエリアの違いを明記（ホットメール＝浜松南部（北区、〇〇区…）、気象庁＝遠州南を一覧表で表現）
	事前にできること	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に持ち歩くものを追加 ・建物の耐震補強のページは不要

■：別冊に掲載する事項